

# 平成24年度に実施した主な事業

## 原発災害 対策事業



公共施設の除染や水田に放射性物質吸収抑制材散布、果樹木洗浄、ガラスパッチ健康調査などを実施しました。

9億2966万円

## 下水道の 災害復旧工事



震災により破損した下水道を修理しました。

2億142万円

## くにみ幼稚園 (旧森江野小学校) 改修工事



旧森江野小学校を改修し、統合する幼稚園の校庭や教室などを整備しました。

1億6962万円

## 国見小学校 プールの 改修工事



老朽化したプールを新しくしました。

7066万円

## くにみもたん FM放送 (緊急雇用 創出基金事業)



毎週金曜午前10時から町の情報を発信しています。

2058万円

## 国見小学校 スクールバス 送迎



24年4月に統合した国見小学校まで各地区からバスで送迎しています。

1986万円

## まちづくり 推進事業 (義経まつり、 ビッグツリーなど)



義経まつりや阿津賀志山ビッグツリーなどを行いました。

660万円

## 特別養護老人 ホーム国見の里 への支援



国見の里の開所に向け、町道新設や土地提供などの支援を行いました。

5747万円

# 平成24年度 決算認定

平成24年度決算の認定は議会最終日に行われ、全議案が原案どおり全員賛成（※山長育英財産管理特別会計は賛成多数）で認定されました。

## 質疑

（一部抜粋・要約）

### 一般会計歳入

（村上晴夫議員）

約2億3000万円  
円が黒字で町財政の健全度

を見る数値も改善され問題ないとの報告だが、今後の課題は。

### 町長

地方交付税や復興関係特別交付税は今後減る見込み。また役場庁舎建設や交流の場の設置などハード事業でかなりの負担増が見込まれるため、長期見直しを持って対応する。

## 問

（松浦常雄議員）

町税滞納分の解消

対策は。

### 税課長

分割納入や預金の差し押え、公売での財産処分などに対応。県税と連携した徴収も実施。25年度は専門家に依頼し、滞納者の生活再建や過払い分の返還相談を進める。

### 一般会計歳出

（村上晴夫議員）

836万円を補助しているが、利用状況と今後の見込

みは。

### 企画情報課長

利用者は年間約1万7600人、1日約72人。少しずつ増えていて、その7〜8割が満足との回答。安定的な運営へ支援を続けたい。

## 問

（村上晴夫議員）

藤田病院の赤字を補う特別負担金は国見町、桑折町、伊達市の3市町で分担し、国見町は6500万円を負担している。前町長は国見町の負担割合を減らすことを検討していたが結果の報告がなかった。現

## 問

（渡辺勝弘議員）

不法投棄ごみ対策事業の成果と対策は。また罰金制度や罰則条例の考えは。

### 住民生活課長

24年度はタイヤ、家電など1350kgを回収。不法投棄防止の看板を設置した。

### 町長

廃棄物処理法に告発制度があり、悪質な場合は県や警察と連携し、対応を検討する。

## 問

（村上正勝議員）

果樹共済事業は自然災害などから農家を守るため重要であり、町で積極的に助成すべきでは。

（6Pに続く）

## 決算審査報告

代表監査委員 佐藤 徳正



各会計の決算書が関係法令に準拠しているか、財政運営が適正かを主眼として審査しました。

その結果、各会計とも黒字であり、計画的な財政執行による収支の均衡と健全な財政運営が行われていました。

また、健全化判断比率、資金不足比率審査は、その算定と基礎となる書類が適正に作成されているかを主眼として実施しました。

その結果、いずれも適正に行われていました。

健全化判断比率は、実質公債費比率、将来負担比率とも前年より下がり、早期健全化基準を下回っているため、良好です。

公営企業の経営状況は、水道事業会計、下水道事業特別会計、土地開発事業特別会計のいずれも資金不足はありません。（抜粋）

健全化判断比率（%）

区分	24年度 (23年度)	早期健全化 基準
実質赤字比率※1	赤字なし (//)	15.00
連結実質赤字比率※2	赤字なし (//)	20.00
実質公債費比率※3	11.1 (12.9)	25.00
将来負担比率※4	78.3 (85.2)	350.00

- ※1 一般会計と公営事業を除く特別会計の赤字の割合
- ※2 公営事業を含む全会計の赤字額の合計の割合
- ※3 収入に対する負債返済の割合
- ※4 将来支払う見込みの負債割合